

鈴鹿の風

すずかのかぜ

チーム医療、多職種連携

院長 久留 聡

VOL.
54

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌



新任者の紹介

医学コラム

療育指導室からのお知らせ

虐待事案の再発防止について

名誉院長の部屋「筆の運びと電カル」



チーム医療、多職種連携

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 久留 聡

中日ドラゴンズは今年も得点力不足に悩まされています。投手力は良いのでもう少し点が入れば成績がよくなるはずなのにと思ってしまいます。巨人やDeNAのような重量打線が羨ましいですが、ないものねだりをしては仕方ありません。長距離砲を並べなくても、広島やヤクルトのように足（走塁）を絡めていやらしく点を取ることもできるはず。昔に比べてボールは飛ばないし、150km以上の速球を投げるピッチャーが増えて今プロ野球は投高打低の時代です。ましてや広いバンテリンドームが本拠地なので色んな工夫が必要になります。各チームには、ここ一番で登場する足のスペシャリストや代打の切り札が存在します。残念ながらこの点においてもドラゴンズはまだまだ発展途上であり、これからこう

した人材を育成していく必要があります。さらに言うと。昔は川相や平野謙といったバントの名手と言われる選手もいました。落合政権時代のアライバコンビとして有名な荒木、井端の1、2番は、単独盗塁、エンドラン、単純に送りバントなど色んな作戦でかき回して相手チームの脅威となりました。スタメン全員が3割打者、2桁本塁打でなくても、それぞれが自分の持ち場で専門性や個性を発揮し、それがうまく融合すれば得点力が向上し勝てるチームに変貌するはず。です。

医療の世界も同様で、集学治療、チーム医療、多職種連携の重要性が言われています。例えば、糖尿病は主科である内科（内分泌代謝）を中心に、病気が進行すると眼科、腎臓科、神経内科、皮膚科、外科など多くの科との連携が必要です。

治療として薬物療法、食事療法、運動療法、合併症管理が必要なので関連する医師、看護師、薬剤科、検査科、栄養科、リハビリなどさまざまな職種が関係します。当院で言うと、筋強直性ジストロフィーという疾患は、筋萎縮・筋力低下、ミオトニアなどの骨格筋症状の他に白内障、心伝導障害、耐糖能異常、睡眠時呼吸異常など様々な多臓器にわたる障害を来しますので、多くの診療科、職種が診療に関わることになります。患者を中心としてそれぞれが専門性を発揮してうまく連携することが患者の病状改善やQOL向上に資すると考えられます。当院も円滑で質の高いチーム医療を目指したいと考えています。

最後に、今年こそ中日ドラゴンズの躍進を願っています。



新任者の紹介



いもと ちほ
井本 千穂

副看護部長

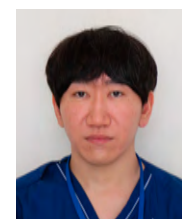
石川病院より赴任いたしました。井本千穂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。地元は三重県ですので、一緒に働かせていただいた方も何人かいらっしゃり、大変心強いです。前施設でセーフティーネット医療に初めて携わりました。病院が生活の場となっている患者様ひとりひとりが安心して暮らしていけるよう、誠実に、質の高い看護を実践することが私達の役割なのだと感じています。皆様に御指導いただきながら少しでも早く職場に慣れ病院に貢献できるよう努めていきたいと思っております。



ふじもり ひろみ
藤森 博美

外来 看護師長

榊原病院より赴任してまいりました。藤森と申します。1年前まで当院の地域医療連携室で勤務をしており今回3年前まで勤務していた外来に着任いたしました。患者様、ご家族様とのコミュニケーションを大切にしてい、患者様の思いに寄り添い、ご自宅や地域で安心して過ごせるようよりよい看護を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



こう ち りょうすけ
河内 亮介

細菌血清主任

三重中央医療センターより異動して参りました。環境が変わり不安もありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



ひらの すみか
平野 澄香

西1階病棟 副看護師長

三重中央医療センターから赴任して参りました。看護学校卒業後、鈴鹿病院の筋ジストロフィー病棟で9年働きました。その後急性期の看護も経験したいと三重中央医療センターに転勤し、脳外科・脳神経内科・整形外科・皮膚科・消化器内科・糖尿病内科で働いてまいりました。再び鈴鹿病院で働くことを嬉しく思っております。患者様の思いに寄り添い、安全、安楽な看護を考え提供できるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



いしかわ まさやす
石川 将康

庶務班長

国立病院機構に採用されて21年目を迎えました。新採用の方と同じ、新鮮な気持ちで心機一転、鈴鹿病院のために微力ながら貢献できればと思います。



えもと よしたか
恵本 好隆

専門職

本年4月より鈴鹿病院に配属されました専門職の恵本と申します。国立病院機構の三重県内4病院のうち、他の3病院には配属されたことがあり、残すところは鈴鹿病院のみとなっていたのですが、このたび、鈴鹿病院の一員となる機会をいただき嬉しく思っております。微力ではありますが、患者様と患者様のご家族の助けとなれるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



まつ た あやか
松田 彩佳

契約係長

4月より東名古屋病院から赴任しました松田彩佳と申します。愛知県岡崎市出身です。新しい環境と業務に早く慣れ、鈴鹿病院に貢献できるように精一杯努めます。ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



たか やま れい な
高山 怜那

患者さんと信頼関係を築き責任感を持ち仕事ができるように頑張ります。不慣れなところもあると思いますが一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

看護師 東1階病棟

た なか やよ い
田中 弥生

結婚のため千葉県へ異動しましたが家族と一緒に三重県へ戻ってきました。新卒からお世話になった鈴鹿病院に戻ってこられて嬉しいです。よろしくお願いいたします。

看護師 西1階病棟

うち だ も も か
内田 萌々花

結婚を機に鈴鹿病院に異動となり、初めてのことでばかりで不安はありますが、皆様と一緒に働くことを嬉しく思っています。ご迷惑をおかけしますが、精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いいたします。

看護師 西2階病棟

わた なべ ひ とし
渡邊 仁

初めまして。三重病院より異動して参りました。渡邊 仁と申します。至らない点も多くありますが、精一杯頑張りますので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

理学療法士

お ぐろ ひ な
小黒 日菜

初めてのことでばかりで、不安もありますが精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

看護師 東2階病棟

お の ゆ ゆ
小野 結友

様々な患者様の個性に合った看護が提供できるよう、日々、知識や技術を身に付けていきます。ご指導よろしくお願いいたします。

看護師 西2階病棟

かわ かみ ゆき み
川上 幸美

患者さんにとって何が最善かをよく考え個性を大切に安全安楽な看護が提供できるよう日々学んでいきたいです。ご指導よろしくお願いいたします。

看護師 西2階病棟

さ がわ こ も も
佐川 小桃

新生活で不安もありますが、日々笑顔忘れず患者さん1人1人に寄り添った看護を提供していきたいです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導よろしくお願いいたします。

看護師 西1階病棟

た なか みず き
田中 水輝

新しい環境でわからないことも多く不安な気持ちもありますが、患者さんや家族の方の思いを大切にして仕事に取り組んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

看護師 東1階病棟

は ま だ も も か
濱田 桃華

新しい環境で不安もありますが、日々実践していく中で、知識と技術を身につけて、患者さん1人ひとりに寄り添える看護をしていきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

看護師 第1病棟

あ ら き ゆ ま
荒木 優茉

社会人1年目で分からないことや不安なことも沢山ありますが、皆さんの力を借りながら今の自分ができる精一杯を頑張ります。よろしくお願いいたします。

庶務係

し げ な い あ や か
茂内 彩佳

新しい環境で不安もありますが、安全に業務が行えるように周囲を見ながら行動し、基礎知識を身につけていきます。

准看護師 東2階病棟

や ま ぐ ち れ な
山口 怜那

西1階病棟に配属となりました。患者さんに寄り添い、安心していただけるような看護を目指します。笑顔と誠意を忘れずチームの一員として貢献できるよう努力します。

看護師 西1階病棟

い し だ ま ゆ
石田 真由

環境が大きく変化し不安もありますが、たくさんのかことを吸収していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

薬剤師

と よ だ あ い り
豊田 愛梨

色々、迷惑をお掛けすると思いますが一生懸命がんばりますのでよろしくお願いいたします。

事務助手

わ だ ゆづ き
和田 結月

看護師としての責任感を持ち、日々の学習を怠らずに立派な看護師になれるように頑張ります。これからご指導のほどよろしくお願いいたします。

看護師 東2階病棟

いち かわ かず み
市川 和美

早く仕事や環境に慣れ、鈴鹿病院の一員となれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

療養介助員 東1階病棟

新任者の紹介



医学 コラム

気軽に観光&脳トレ!「リアル謎解きゲーム」のあすめ

神経内科 平野

こんにちは、神経内科の平野です。気軽に読めるコラムを、ということで、本当に気軽に(笑)、数年前からハマっている「リアル謎解きゲーム」についてお話しします。

名前の通り、実際の街や施設を舞台にして、参加者が手がかりを集めて謎を解いていく体験型イベントです。明治村やナガシマスパーランドといったテーマパークでも開催されていますが、私が特にお気に入りなのは、街を歩きながら謎を解く「ナゾトキ街歩き」です。

この街歩き型のイベントは、謎を通してその土地の歴史や文化を知ることができるのが魅力。観光地だけでなく、普段あまり行かないようなニッチな町も舞台になっていて、「こんな場所があったのか!」という発見の連続です。まさに、歩いて学べる大人の遠足。

中でも印象に残っているのが、昨年冬に参加した「山手線謎巡り」。山手線の各駅を巡りながら謎を解いていく内容ですが、特に、高輪ゲートウェイ駅での体験が忘れられません。正直、あの駅は何もないというイメージでした。でも、夕暮れどきに駅に降り立ち、約100メートルのガラス張りの駅舎から見えた茜色の空と、ゆっくりと広がる東京の夜景に、思わず息をのみました。まさに“行く価値あり”の景色です。

たくさん歩くので、健康にも良いですよ。好奇心と運動を同時に満たせる「リアル謎解きゲーム」、機会があればぜひ体験してみてください。



療育指導室からの お知らせ

鈴鹿病院では、ご自身はもちろん、他の患者さんと、ご家族と、職員と“一緒に楽しい!”ことをしようと年間を通して、季節の行事(運動会やクリスマス会等)、年齢の行事(成人式や還暦のお祝い等)、そして、院内外レクリエーション等を実施しています。

今回は院内外レクリエーションのひとコマをご紹介します。院外レクリエーションは、近隣の鈴鹿フラワーパーク、



院内外レクリエーションが
始まりました!

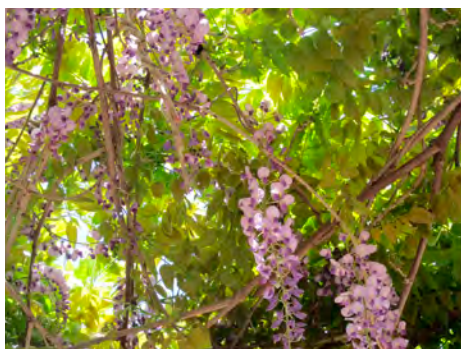
イオンモール鈴鹿等、患者さんの体調やニーズに合わせて行先がいくつかあります。フラワーパークでは花がとっても綺麗な時期なので、患者さんたちも表情が緩みます。病院とは違う雰囲気緊張する患者さんもありますが、後半には鼻歌を歌ったり、“帰りたくない!”とアピールしたりする患者さんもあります。

イオンモール鈴鹿では、お買い物意欲が駆り立てられます。最近はネット通販もありますが、やはり現物を見て買うのは格別?!ということで、「あれもいいね」「こんなのも着てみたいわ」と目移りしている患者さんもあります。「そろそろ帰りましょうか?」との職員

の声掛けに、「もう帰る時間なの?」「早すぎる!」というお声をたくさん頂きます。

院外レクリエーションに参加できなかった患者さんたちには、院内レクリエーションがあります。病院内でクイズラリーをしたり、ゲームをしたり、普段ではなかなか取り組めない活動(貼り絵や特設スノーズレン等)に取り組めます。普段の療育活動とは違った特別な取り組みに患者さんたちも目がキラキラし、熱心に集中して取り組む姿がみられます。

鈴鹿病院では、患者さんたちの療養生活に少しでも楽しい変化を…と思い、さまざまなイベントを企画しています。



虐待事案の再発防止について



令和6年5月に報道されました当院で起きた虐待事案につきまして、被害者の皆さま、患者の皆さま、ご家族の皆さまには多大なる不安やご心配、ご迷惑をおかけすることになり、心よりお詫び申し上げます。

本事案を受け、今後はこのような虐待を起こさないという強い決意で、再発防止に取り組んでまいります。

- ・虐待疑い事案を認識した場合には、速やかに虐待防止委員会を開催・審議し、即座に自治体に通報するとともに、疑わしい事案についても迅速に自治体に相談・報告したうえで対応を決定します。
- ・研修内容・方法を工夫のうえ、幹部職員(管理者)を含めた職員に対する虐待防止研修や学習会(介護技術向上に係る病棟勉強会や倫理カンファレンス等)の充実・強化を図り、職員の意識改革を行います。
- ・四半期に1度、第三者(外部委員)による助言・評価等を導入し、開かれた施設運営の推進努めます。
- ・特定の職員に任せることなく、病院組織として虐待防止マニュアルや虐待防止チェックリスト等の内容を定期的に見直し、随時、職員に周知するとともに、虐待防止チェックリストを配布・回収し検証したうえで、結果を踏まえ、虐待防止委員会で取り組むべき対応を検討し、取り組みを実施します。
- ・支援の難しい利用者に対して、よりよい支援ができるよう多職種による事例検討を行い、職員が統一した支援を行うために、看護計画・個別支援計画及び支援の手順書に具体的な対応方法を整理します。
- ・虐待防止委員会で虐待防止への取り組みを検討し実施するとともに、改善計画の進捗状況进行评估します。
- ・他施設との交流イベントに参加し、他院で実施している虐待防止に関する取組事項について自院での活用方法を検討します。
- ・虐待に係る通報制度を職員に周知・徹底するとともに、相談・通報連絡窓口を職員、患者(家族)等の皆さまに再周知します。
- ・職員の心のケア対策として「こころの相談窓口」を設置します。
- ・患者(家族)の皆さまとの交流を進め、寄せられた意見を関係者、職員等で共有します。
- ・適切な組織運営体制を確保するために、職員確保に努めます。

皆さまの信頼を回復するため、全力で努めてまいります。よろしくお願いします。

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院
院長 久留 聡

名誉院長の部屋

筆の運びと電カル

名誉院長 小長谷 正明



NHK『ひかる君へ』より

令和6年のNHK大河ドラマ『ひかる君へ』は、『源氏物語』の作者紫式部と藤原道長の筒井筒・ソウルメイトの思いを軸に、平安貴族や清少納言などが織りなす王朝物語であった。いつもの大河ドラマのような侍たちの殺し合いではなく、貴族たちの権力闘争もありながらも、その時代らしい雅な香りも漂っていた。感心したのは、紫式部や藤原道長、清少納言、藤原行成などが筆を走らせるシーンである。俳優さんたちが自分で書いていたらしい。紫式部の吉高由里子さんは、元々は左利きなのだが右手で筆を持って練習してアップの画面に耐える仮名文字を書き下し、三蹟と言われた能書家だった藤原行成役の渡辺大知さんは書道経験がなかったが、行成の書を手本に練習し、書道指導の人を唸らせたという。

羨ましいのはタレント達だけではない。現役の病院長だった頃は職員の採用面接には必ず臨んでいた。すると、時には水茎麗しい自筆の履歴書に、趣味・特技の欄に書道〇段とかペン習字1級など書いている人もいた。悪筆コンプレックスの僕には、それだけで一方ならぬ人材に思えてしまった。良筆は福を呼ぶ。

自慢ではないが、僕の字は学校の先生たちには悪評価だった。小学校では「字が汚いので、満点はあげられません」と言われ、さらに漢字の書き順が間違っているからと、国語の成績が2を付けられた。五段階評価の下から二番目で、1をもらったのは長期欠席者だった。中学校では「なんだ、この答案は、お父さんはちゃんとした字なのに」とホームルームで言われた。答案や作文の紙を前にすると、考えるスピードに書くのが追いつかないのだ、だから蚯蚓がのたくるような字になってしまう。幸い、解説してくれる先生のおかげや、他の科目はまあまあだったので、学校嫌いにはならなかった。

やがて、大学入試に失敗して浪人になってしまった。父からはきついお叱りの最後に「採点者が判読不能な悪筆答案では、当然、落第だ!」と言われた。それに実力不足だったけれど、次の受験では字画や行間に気を配って金釘流なが

らも答案を書き、悪運を呼ばずにすんだ。その後の医師国家試験はマルチプルチョイスだったので、書字では悩まなかった。

そして、医者になって最初の仕事は教授外来のベシュライバー、つまりカルテ書きであった。大先生は患者さんを細かく診察して、次々と横文字混じりの所見を口にされる。知らない医学用語があると、年次上のベシュライバーが教えてくれるが、「カルテは他人が読めて初めて意味があるのだ。処方箋が汚いと薬局が間違えて、医療事故になるんだ、・・・」とご教訓まで垂れてくれた。

しばらくすると、論文を書くことになった。蚯蚓どころか、蛇の蛇行のような字で下書きを素早く書いたが、上の先生のご校閲には、読みやすい字で原稿用紙を埋めなければいけない。誤字、脱字があると最初から書き直しである。そこに添削が細かく入る。又、きちんと書き直す。初めての時は、これを20回も繰り返した。そして学術誌に投稿するのだが、ある時の編集後記「悪筆の投稿論文でも、きちんと査読・評価するのが編集委員の義務と思うが、投稿者も判読可能な文字で書いてほしい」は、まさか自分のことではあるまいかと、しばらくは寝付きが悪かった。

医者になって10年くらい経った1980年代中頃にワードプロセッサが出てきた。液晶は1行分だったが編集機能は



初めてのワープロ

あり、きれいな文字も打ち出すので、これは素晴らしいと、大枚を叩いて2年間のアメリカ留学に携えて行った。英語ばかりのテレビは見ずに、せっせとワープロで雑文に手紙を、たまには論文を打っていた。

もちろん、ワープロはキーボードで打つ。大学時代に、「これからの医学論文は英文なんだぜ」と声高にのたまう同級生に影響されて、中古の全自動タイプライターを手に入れ、ヘミングウェイやOヘンリーの短編小説を読みながら打ち込んで自己流で覚えた。同級生の彼の論文を打つのだと、タイピングスクールに通っていた女子学生もいたが、内助の功の機会はなかったようだ。

留学先の大学病院の診察室には必ず秘書が付き、診察内容を素早くタイプし、処方箋や書類を作っていた。ドクターは負担軽減で診療専念と、アメリカらしい合理的精神である。院内業務はなんでも医者がという、どこかの国とは違っていた。

平成になり、鈴鹿病院に二度目の勤務を始めた頃も、カルテも処方箋も旧態依然のままだったが、しばらくするとパソコンが普及し、ITに抜群に強い整形外科の田中先生が中心になって、院内のネット環境が作られた。21世紀になり、筆者が病院長になった頃には電子カルテが普及しはじめ、診療・医事業務の効率化のために導入したかったが、一床当たり5百万円の単価に怯えてしまった。

で、相変わらずの蛇と蚯蚓の乱闘のような字でカルテ書きをしながら病院の建て替えに10年間ほど費やし、やっと、電カルにまで関心が向いた。国立病院機構病院の診療内容に合わせたパッケージ化などで、価格も安くなっていた。が、総看護師長がためらった。「キーボード入力できるナースがどれだけいるでしょうか、年配者が心配です」と。そこで、採用面接で質問すると、ほとんどの看護師さんがパソコンは大丈夫です、高校の授業で習いましたなどと心

強い返事。それに、年配ナースでもケータイでメールするご時世だ、なんとかなるだろうと、GOサインを出した。

2014年2月に電カル運用はスタートしたが、案に相違して、老若を問わず職員はこれが新しいやり方と、みな順応してくれた。腕の発揮の場がなくなった、毛筆・ペン習字有段ナースたちからのクレームもなかった。ところが問題は言い出しっぺの僕である。診察所見を打ち込んでいると、患者さんに対応する時間がなくなってくる。それに、タイピングに誤字脱字や変換ミスも多く、検査のオーダーや書類のやり取りもややこしい。院長がこれでは困るというので、事務部長がメディカル・クラークを考えてくれた。英語専攻で牛若丸も知らない人だったが、タイピングは速く、事前に僕がよく使う和・英の医学用語も電カルと自前の脳内辞書に登録していた。パフォーマンスがよくなり、教授外来やアメリカの診察室に少しは近づけた。



2014年2月24日 電子カル導入



■ 外来診察担当表 (2025年6月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳 神 経 内 科	南 山	小 長 谷	久 留	小 長 谷	久 留
	木村・野田	酒 井			
内 科	野 口	野 口	牧 江	落 合	
		落 合			
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 (装 具 外 来)			田 中
リハビリテーション科		田 中	近 藤	田 中	田 中
皮 膚 科		予 約(午前)			予 約(午後)
歯 科	永 田(午前)	北 村(午後)		永 田(午後)	
禁 煙 外 来	野 口			落 合	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします (あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

■ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



編集後記

段々と暖くなり、日が長くなってきました。
新年度が始まり病院も活気に溢れています。
今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

給与係 岡澤結

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>

令和7年6月発行